

重点
技術対策

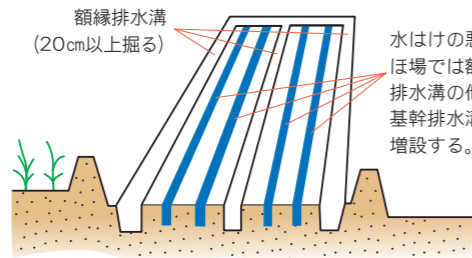
排水の徹底!
適正な種量で苗立本数を確保!
培土は遅れずに!

作業の
取組み
方法

①排水対策

●大豆は湿害に弱い! 耕起前の額縁排水溝は基本!

- 耕起前の額縁排水溝後の作業も計画的にできる
①早めに額縁排水溝(スクリュウオーガ等)を設置し、深く掘り下げた排水口に連結する。
②透水性の悪いほ場では、心土破碎(サブソイラー使用)により、排水性を改善する。



砕土率が上がると

- 1) 発芽・苗立ちが良くなる
2) 根量が増え根粒菌も増える
3) 除草剤の効果が十分に得られる
4) 培土がしやすくなる

②土壌改良・基肥

●「苦土石灰(粒)」の施用(石灰・リン酸・微量要素入り) ●地力の低いほ場では堆肥を施用する

〈施肥設計例〉

Table with 3 columns: 項目, 資材名, 10a当たり施用量. Items include 酸度矯正・土づくり, 基肥.

堆肥の種類 10a当たり施用量

Table with 2 columns: 堆肥の種類, 10a当たり施用量. Items include 牛ふん, 豚ふん, 発酵鶏ふん, 粗穀堆肥.

※稲わらや麦稈は焼かず全量すきこみましよう
※pHが低いと萎疫病が出やすくなります

生育のイメージ

主な作業

1 排水対策

2 土壌改良肥

3 耕起・砕土

4 は防除

5 除草剤

6 排水溝の連結

7 乾燥田には短時間で畦間かん水

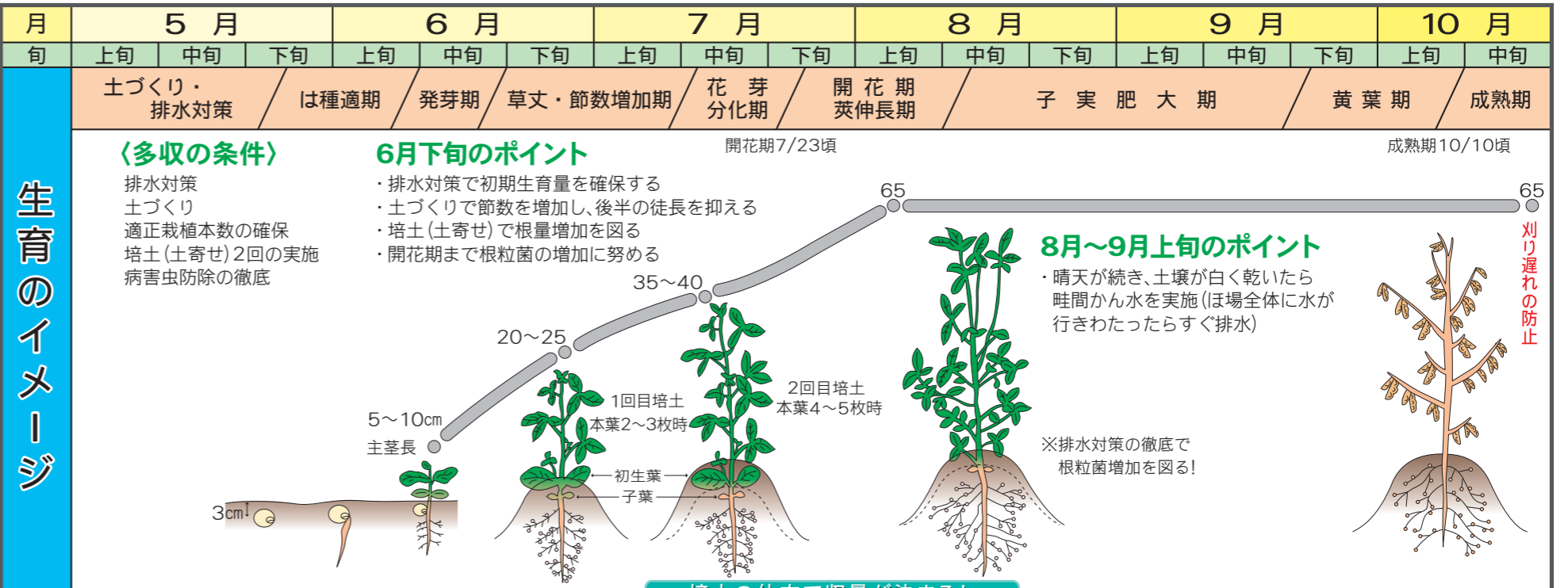
8 防除

8 防除

9 収穫

10 排水対策

10 緑肥作物



③種子消毒

●種子消毒剤の塗抹処理(は種する2~3日前に行う)

- ①大豆 1kg
②クルーザー MAXX 種子1kg当たり薬剤8ml
③タルク 種子1kg当たり薬剤80g



④は種作業

●出芽・苗立ちを安定化・適正栽植本数の確保
栽植本数が少な過ぎると青立ちしやすくなります。
これまでの種量を見直して、は種時期に合った種子量を準備しましょう。

一連の作業は、好天日に一気に行う

- ①耕起深さの目標は15cm以上とし、根域をひろげよう。
②は種深度は3cmを目標とし、浅まき、深まきはしない。
③地力の高いほ場等で、青立ちの発生が懸念される場合は、は種の早延を6月上旬とする。

Table with 5 columns: 是種時期, 条間, 株間, 10a当たり目標本数, 是種量. Rows for May and June sowing.

⑤除草剤散布

Table with 5 columns: 散布時期, 薬剤名, 10a当たり散布量, 農薬の総使用回数, 注意事項. Rows for pre-planting and growth stages.

⑥中耕、培土

●2回培土の完全実施...確実な培土は多収への近道

培土の4つの効果
1) 雑草を抑える
2) 倒伏を防ぐ
3) 根と根粒菌を増やす(根圏の拡大)
4) 湿害を防止する
株元までしっかりと!

⑦干ばつ時の畦間かん水(落莢を防ぎ、莢数の確保)

- ①開花期後、晴天が続く畦間が白く乾燥し、大豆の水不足が予想された時には畦間かん水を行う。
②ほ場全体に水が行き届いたら、水口を止め速やかに排水を行う。

⑧病虫害防除

- ①紫斑病は2回防除を確実に行ってしっかり予防しよう。
②フタスジヒメハムシ、ネキリムシ、アブラムシの発生をおさえるためにクルーザー MAXXを塗抹処理する。
③ほ場をこまめに観察し、病虫害の早期発見・防除につとめる。

Table with 6 columns: 防除時期, 対象病虫害名, 薬剤名, 10a当たり散布量, 農薬の総使用回数, 収穫前日数. Rows for purple spot and beetles.

Table with 6 columns: 防除時期, 対象病虫害名, 薬剤名, 10a当たり散布量, 農薬の総使用回数, 収穫前日数. Rows for defoliation, grasshopper, and soybean pod borer.

※農薬の総使用回数とはその薬剤が大豆栽培期間中に散布することができる回数です。
※収穫前日数とは薬剤を散布してから収穫までに必ずあなければならない日数です。
農薬の使用基準を守り、周辺に飛散しないように注意しましょう

⑨収穫

子実水分22%から収穫開始
降雨後を避け、適正な速度で収穫

汚損粒の防止
チェック! 雑草の除去
青立ち株

ストップ!汚損粒!
ピカピカ大豆収穫のためにオペレーターは必ずチェック!

- 地際から10cmの刈取り高さ
■雑草の抜き取り

⑩緑肥作物

Table with 3 columns: 是種時期, 是種量. Rows for Heary Petch and Clover.

★緑肥の生育が大きいほど、地力増進効果が高いので、十分に生育量を確保しましょう。